



令和3年10月1日発行 第7号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076



【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるころ

【学校教育目標】「主体性」「社会性」「将来性」を培う生徒の育成

【めざす学校像】夢・感動・笑顔を創る、活気あふれる皆野中学校

生徒数 1年71名 2年83名 3年71名 合計225名

コロナ禍の体育祭

校長 小菅恭青史

今年度も緊急事態宣言下で数々の制約を強いられました。それでも昨年よりは拡大して生徒の活躍の場を増やそうと工夫を凝らしました。ところが、2学期当初からの長雨で、計画通りの練習ができませんでした。グラウンドコンディションが悪い上に、一面雑草が生い茂っていました。それを見かねて手助けしてくださる方がいました。



右の写真は土砂降りの中、作業してくださっている方々です。明らかに効率の悪い作業でしたが、体を張った丁寧な仕事ぶりでした。本校には強力な後ろ盾がある…と改めて実感しました。頭が下がりました。



難題はこれだけではありませんでした。急遽、感染症対策を講じなければならなくなりました。保健所からの指示(要検査)もあり、予定した11日(土)開催を断念しました。さらに、万が一に備えて無観客の平日開催としました。親御さんの気持ちを慮ると、胸がしめつけられる思いでとても辛かったです。本番も正直言って切なかったです。異様な閉塞感の中で、声援も送れない体育祭。本当に寂しかったです。一日も早く、心や体の触れ合いが感じられる…そして人と人とが確かに繋がっていく・・・そんな学校生活を過ごしたいものです。

保護者や地域の皆様には、学校からのお願いを受け入れてくださり、まことにありがとうございます。おかげさまで感染拡大は未然に食い止められました。そして、子供たちも誠実に対応してくれました。私が心奪われた種目は、各学



年の全員リレーでした。接戦・大差・逆転に次ぐ逆転とたいへん見応えがありました。一本のバトンを全員でつなぐ意味というのを改めて考えさせられました。行事っていいな、学校っていいな、学級っていいな…と、感じられる感動・躍動・協働の瞬間でした。

